

団体名	山形県立米沢商業高等学校商業研究部商業研究班		
事業名	駅を中心とした地域資源 PR 事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【県政課題：住民一人ひとりが地域を見つめ直し、アピールする、「オール置賜」による地域づくり】		
団体の 所在市町村	米沢市	事業費	230,070 円
		うち助成金額	230,000 円

■事業目的

山形県置賜地域には、優れた歴史資源や食文化等が数多く残されている。当地ではこうした強みを活かし、多くのボランティア団体により、観光による地域活性化の取り組みが行われている。このような取り組みを、次世代を担う高校生の目線で考え、自ら実行することで、若い世代の地域への愛着の醸成や、今後の活動の継続性にもつなげ、「オール置賜」による地域づくりを実施する。

■実施内容

- ①平成29年全国高等学校総合運動大会（インターハイ）「ホッケー競技」や、地域で開催される様々なイベントを活用し、高校生の目線で地域資源を整理し、紹介するマップやパンフレット（日本語・台湾語・英語）等を作成し、JR米沢駅や「松が岬公園」等で訪れる観光客等に配布した。
- 7月16日（日）「Mフェス」18名参加、7月28日（金）・29日（土）「JR米沢駅」24名参加、平成30年2月10日（土）～12日（月）「上杉雪灯籠祭り」21名参加



- ②置賜地域の観光資源の強みと弱みを客観的に把握することを目的に、地域の

イベント等での県外の方へのアンケート調査や、首都圏や仙台市等でアンケートを実施した。

5月2日（火）・3日（水）「上杉祭り」にてアンケート調査、8月8日（火）・9日（水）千葉商科大学及び山形県アンテナショップにてアンケート調査、9月2日（土）・3日（日）JR仙台駅にてアンケート調査を実施。



- ③①や②の活動などをまとめて、山形県及びJR米沢駅や置賜地域の観光関係者の人たちの前で発表した。
- 6月6日（火）JR米沢駅にて発表、10月27日（金）「山形県高等学校生徒商業研究発表大会」（会場：村山産業高校）にて発表。



■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

観光アンケート調査を実施することにより、今まで知らなかった置賜地域の地域資源や、さらなる観光の魅力につ

いて知ることができた。また、それら地域資源や地域の魅力をいかに国内外の人たちにPRすればよいのか、PRする具体的な方策などについて研究実践することができた。置賜地域を訪れる観光客約320名及び、首都圏や仙台市の人たち約150名に観光アンケート調査を実施し、得たデータを基に、置賜地域の観光マップや観光パンフレットを作成し、JR東日本駅からハイキングや、JR米沢駅や地域の観光イベント等での置賜地域の観光ガイド等も実践し、さらに深く地域や地域資源について勉強することができた。これらの研究実践活動をとおして、地域について深く学び、郷土に誇りを持ち、地域や地域の観光資源をさらにPRしていきたいという気持ちが高まった。インバウンド観光についても、アジアから訪れる観光客は、ほとんど都市部にしか訪れていない現状だが、地域にある自然や、歴史・文化などを活かした観光客の誘致活動に尽力していきたいという考えを持った。

②今後の展望

この事業で得られた活動結果や集計の分析を、地域団体との繋がりを活かして、今後も継続して続けていく。また、地域のPR活動なども並行して実施し、置賜地域を訪れる方々を増やすとともに、地域の交流人口の活発化に努力していきたい。最近のインバウンド観光を見据えて、外国人観光客にとってわかりやすいパンフレットやマップの作成。外国人への観光案内等できるように勉強研修を重ねていく予定だ。特に欧米の観光客が多く訪れるような地域づくりに携わってきたい。